

# 生誕120年記念 ヴラマンク展

会 期  
11月2日(土)～12月8日(日)  
会 場  
福島県立美術館  
休館日  
11/5(火)、毎週月曜日

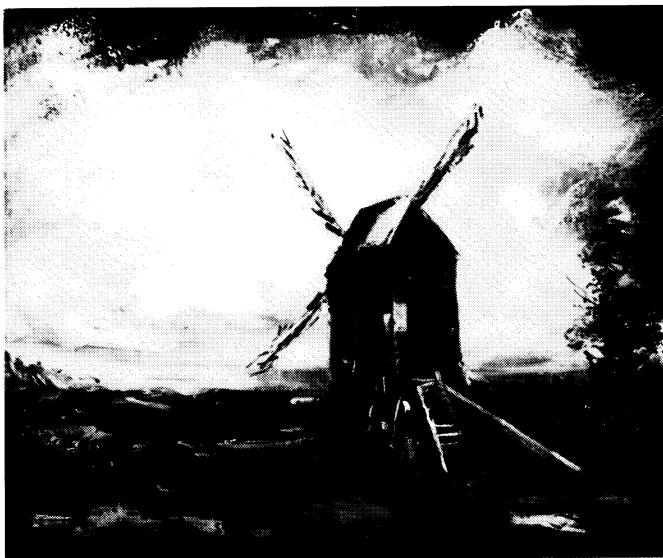
文化の窓



20世紀初頭のフランスで、明るい原色の色彩と激しく大胆なタッチによって、美術の世界を席卷したフォーヴィスム(野獣派)の絵画。モーリス・ド・ヴラマンク(1876-1958)は、マティス、ドラゴンと共に、フォーヴィスムを代表する画家として知られています。

アカデミズムに反抗したヴラマンクは、ほとんど独学で絵画を学び、フォーヴィスムの画風を生み出しました。しかし、彼はそこにとどまることなく、セザンヌの影響を受けて構成的な作風に転じます。そして、さらには、鉛色の色彩とスピード感のあるタッチが特徴的な、独自の表現主義的作風を開花させました。そのようなヴラマンクの制作姿勢や作品は、里見勝蔵、佐伯祐三など、当時の若い日本の画家たちにも大きな影響をあたえています。

ヴラマンクの生誕120年を記念するこの展覧会では、初期から晩年にいたるまでの88点の油彩作品によって、ヴラマンクの自由奔放でエネルギー溢る創作の世界を振り返ります。



「風車場、嵐の風景」1938年

講 演 会 「ヴラマンクの人と芸術」  
講師：マイテ・ヴァレス＝ブレッド氏  
(前シャルトル美術館館長)  
日時：11月2日(土) 14:00～  
場所：美術館講堂にて(入場無料)

ギャラリートーク ①11月8日(金) 10:30～ ②11月16日(土) 14:00～



「花瓶の芍薬」1922年



「セーヌ河岸の風景」1906年

観 覧 料  
一般・大学生＝820円(660円) 高校生＝610円(460円)  
小・中学生＝410円(300円) ※( )は20名以上の団体料金